

平成 30 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：研究会「ニュートリノ」
英文：Neutrino Workshop

研究代表者 奥村公宏（東京大学宇宙線研究所 准教授）
参加研究者 佐藤透（大阪大学理学部物理学科 准教授）
梶田隆章（東京大学宇宙線研究所 教授）
安田修（首都大学東京 教授）
谷本盛光（新潟大学 名誉教授）

研究成果概要

本研究会はニュートリノ研究に関して理論と実験の研究者が一堂に会し、最新の情報を共有し新たな研究の展開の芽を得ることを目的としており、2000 年より開催している。平成 25 年度からは新学術領域「ニュートリノフロンティア融合と進化」と共同で研究会を開催している。平成 30 年度は、「超新星背景ニュートリノ」という題目で 2019 年 3 月 23 日（土）に柏キャンパスの東京大学宇宙線研究所で開催した。参加者は 21 名で、国内外の主に超新星背景ニュートリノに関する理論研究者 及び 実験の研究者によって合計 7 件の講演を行なわれた。講演のアジェンダは以下に記した研究会ウェブページに記載されている。

<https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/indico/event/197/>

研究会では、イントロダクション、背景ニュートリノフラックスの理論計算、ブラックホールとの関連 そして SK-Gd 実験に関する研究について、5 件の講演が行われた。また、公募講演として中性子測定実験に関する講演も 2 件行われた。研究会の様子を撮った写真を以下に記す。



整理番号 J01